



学会ホームページ <http://jasce.jp>

051号(2019年7月29日)

目次

- 全国大会情報
- 学会役員選挙速報
- 『協同と教育』への投稿募集中
- 学会ワークショップ
- 開催報告
- 今後の予定(判明分)
- 各地の研究会・勉強会

全国大会情報

今年のJASCE全国大会は、10月25日から3日間にわたり高知大学で開催されます。四国は協同教育の実践の広がりがまだ小さい地域です。新たな協同の風が吹き込まれるきっかけが本大会になると確信しています。会員のみなさまのご参加をお待ちしています。

発表等募集期間を**8月9日(金)**まで延長します!!

第16回大会発表申し込みフォームからお申し込みください。

(大会情報: <https://jasce.jp/conf.php>)

日本協同教育学会

第16回大会実行委員

委員長 俣野秀典

学会役員選挙速報

6月末で投票を締め切った役員選挙の結果が判明しましたのでお知らせします。投票者総数110名、有効投票数510票。得票上位10名から2名の辞退者が出たため、次点の方2名が理事に就任することになり、次の10名が新理事に選出されました。

緒方 巧、甲原定房、鹿内信善、須藤 文、関田一彦、高旗浩志、中西良文、野上俊一、水野正朗、安永 悟(50音順:敬称略)

理事の互選により新会長に安永 悟先生を選出しました。規約に基づき新会長が指名する理事を加え、9月には新体制が発足します。

『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿を随時受け付けています。論文の投稿に締め切りはありません。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月を要します。これまでのところ、12月末までに査読が終了し掲載が決定した論文は3月に刊行予定の「協同と教育」に掲載されております。

編集委員会では学会機関誌『協同と教育』第15号(2020年3月発行予定)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

学会ワークショップ開催報告

<ベーシック>

6月15日(土)～6月16日(日)【主催】

会場: 犬山市国際観光センターフロイデ(愛知県犬山市)2F 研修室2
講師: 水谷茂

これまで中京大学を会場にしていましたが、今回は新しい試みとして愛知県犬山市でワークショップを開催しました。リピーター3名を含む15名が参加されました。テキスト内容を踏まえて協同学習を用いた授業づくりの留意点について学び、「協同で学ぶ俳句の授業」を体験することを通して協同の原



理に基づく授業づくりへの理解を深めました。盛りだくさんの内容ですが、話し合う時間が多くあり、リラックスした雰囲気のなかで、参加者は時間を忘れて熱心に取り組んでいました。

(水野正朗)

7月20日(土)～7月21日(日)【主催】

会場: 創価大学(八王子市)教職大学院棟V409教室

講師: 関田一彦

7月20、21日の両日にわたりベーシックを開講しました。学期末ということもあり、参加者は12名と少なめでしたが、同時にワークショップの撮影も行いましたので、スペース的にはちょうど良いクラスサイズとなりました。初めて参加した方たちからは、グループ学習と協同学習の違いなど、まったく知らなかったのととても勉強になったといった声が寄せられました。また、リピーターの方たちからは、改めて分かったつもりでいたことに気づいた、もう一度基本を意識して取り組みたい、といったコメントがありました。参加者それぞれに、学びへの手ごたえを感じる2日間になったようです。(関田一彦)

JASCE



<アドバンス>

7月20日(土)～7月21日(日)【主催】

会場：創価大学（八王子市）教職大学院棟V309教室

講師：久保田秀明

小学校、大学、専門学校などさまざまな校種から8名の参加者が集い、認定ワークショップ・アドバンスを、創価大学教職大学院棟V309教室で開催しました。「何のために学ぶのか?」、「技法を超えて行くアドバンスの学び」、「協同学習における評価」、などについて活発なディスカッションが行われました。参加者からは、「技法を使うことを中心に取り組んできたが、これからは協同学習の理念についても掘り下げて考えて実践したい」、「実際に身体を動かしながら協同的に思考することを通して、授業で使ってみたいヒントをたくさん得ることができた」等のコメントが寄せられました。協同教育の力強さと、広がり的大小を確認し合う2日間になりました。(久保田秀明)

学会ワークショップ 今後の予定(判明分)

<ベーシック>

8月17日(土)～8月18日(日)【主催】



会場：比治山大学（広島市）6号館06203教室

講師：安永悟・須藤文

8月24日(土)～25日(日)【公認】

会場：南山大学(名古屋市)D棟

講師：和田珠実・石田裕久

8月31日(土)～9月1日(日)【主催】

会場：学校法人湘中央学園浦添看護学校(沖縄県浦添市)1階第二会議室

講師：安永悟・須藤文

<アドバンス>

11月9日(土)～10日(日)【公認】

会場：南山大学(名古屋市)D棟

講師：長濱文与・石田裕久

<1日研修>

2019年8月25日(日)【公認】

会場：中京大学名古屋学舎(名古屋市)5号館522教室

講師：水谷茂

※定員になり次第、受付を終了します。申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記URLをご覧ください。
(<https://jasce.jp/1031workshop.php>)

各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

協同で学ぶ授業・学級・学校づくり学習会

◇6月22日(土曜日)13時より16時30分の間、51名の参加者を見て5回目の「協同でつくる学校、学級、授業づくり学習会」を引き続き北海道空知管内南幌小学校にて開催いたしました。当日は、空知管内はもとより石狩管内の江別市、千歳市、恵庭市、当別町、日高管内浦河町、会場から自家用車で3時間ほどかかる士別市教育委員会からも4名参加頂き、空知管内以外の参加者が全体の2割を超えるようになりました。研修テーマは参加者のアンケートにより「協同でつくる保護者との信頼づくり」で、日本協同教育学会の定義の理解からはじまり、信頼とは何か、保護者と教職員の信頼が目指すもの、さらに、コミュニケーション論を中心に研修を進めながら、事例により、保護者との互恵的な関係をどう築くのかを深めました。講師は私が務めました。参加された皆さんは学校のリーダーばかりではなく、学級担任や教員経験5年未満の方も複数参加頂きました。3時間30分と言う長時間の研修でしたが、協同学習の形態を活用した研修スタイルに短く感じた多く聞かれました。終了後は場所を移動し小学校、中学校、高等学校、教育行政、保護者とそれぞれ立場が違いながらも21名の参加を見て和やかに懇親交流会を開催しました。
◇次回6回目は参加者の要望により8月3日(土)を予定し、「協同によるチーム学校づくりと不登校対応」をテーマ

JASCE



に研修会を開催いたします。

連絡先：石垣則昭(北海道医療大学 心理学部 ishigaki7634@dream.bbexcite.jp)

協同学習ミニワークショップ

◇2月16日(土)と6月8日(土)に、札幌エルプラザで開催された「札幌教育カウンセリングを学ぶ会」の学習会において、松浦賢一(北海道教育庁)が講師となり、「協同学習の理論と技法～アクティブ・ラーニング型授業づくりに向けて～」のテーマで、協同学習のミニワークショップを開催しました。対象は、教員及び大学生等で、第1回は12名、第2回は10名が参加。2回にわたって、協同学習の基礎的な理論や技法について学習しました。参加者からは「実践につながる意義深い内容でした。授業を楽しく充実させることは、子ども達にとって学校生活を円滑にするものだと思います。」「今まで理論を勉強したとしても実践に役立たないと思っていたのですが、その考え方に変化があり、今回理論だけでなく参加者の方と実践しながら学ぶことができ、本当に良かったです。アクティブ・ラーニング、協同学習を行うヒントを得ることができたので、実践していきたいです。」「初めて協同学習というものについて学び、改めてInputだけでなくOutputする学習の

大切さを感じました。他者と考えを共有することで新たな発見があると気づきました。」などの感想が寄せられました。



◇参加者からの要望により、11月に第3回を開催する予定です。

報告者：松浦賢一(北海道教育庁)

(東北地域)

宮城協同教育を学ぶ会

◇6月29日(土)に宮城学院女子大学を会場に、小学校外国語の授業づくり研修会を実施しました。たいへんな悪天候でしたが、大学生や県外からの参加もあり、16名で学び合いました。鬼首小の菅野先生による模擬授業でいろいろなアクティビティを体験したり、大学生から外国語での教室活動の提案をしてもらったりと、いろいろな視点から授業づくりを考えることができました。講師の木村春美先生からは、言語習得という観点を軸に「人間力としてのコミュニケーション能力を育てたい」「子どもたちは担任の先生の言葉を聞きたがっている」など、授業づくりの根幹となるお話をいただきました。様々な立場の人が集まり、活動しながら互いの関係を築き、学びを深めた素敵な研修会となりました。今年度、宮城では授業づくりをテーマに研修を進めています。



◇次回は、11月2日(土)に実施します。

連絡先：熊谷みち(宮城協同教育を学ぶ会 事務局 mm.kumagai@gmail.com)

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇6月例会を、6月18日(火)午後7時から名古屋大学教育学部共通講義棟(第2講義室)で開催しました。発表テーマは、「裁判員裁判」(中学校3年生：社会[公民的分野])。発表者は、岡村 匠先生(愛知県小牧市立北里中学校教諭)。参加者は18名。「より国民の理解しやすい裁判を実現する」との理念で始まった「裁判員制度」をテーマにした岡村先生の授業で、子どもたちは実際の刑事事件について量刑を予想しました。はじめはクイズ感覚でしたが、大切な家族の命を奪われた被害者の思いを知り、裁判官と裁判員のギャップ(地裁と高裁での量刑の違い)に直面し、裁判員経験者の声を知った子どもたちの議論は次第に真剣で切実なものになっていきます。この授業実践を手がかりに、児童・生徒の法的思考力・判断力の育成、社会制度に関する見方・考え方についての議論を深めました

連絡先：水野正朗(東海学園大学 mizuno-ma@tokaigakuen-u.ac.jp)

JASCE



(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇今回は27名の方が参加され、病院の看護師の方2名を含む5名の初参加者をお迎えしました。最初に、梅花女子大学のチアリーディング部「レイダース」がアジアチャンピオン5連覇達成を目指し、チーム一丸となって「協同」し闘う姿を紹介した番組(BS11)「ザ・チーム 勝ち負けの向こう側」を視聴しました。次に、テーマ「深い学びに着地するグループ学習の設計と展開」についてディスカッションし、意見を共有しました。

教員は様々な意図を持ってグループを編成しますが、学生側にとっては必ずしも自分が望んで集まったメンバーではありません。その状況下で、学生たちが学び合いをして深い学びに達するには、教員は課題を提示するだけでなく、チームが協同して取り組めるための配慮(仕掛け)が必要です。今回のディスカッションでは様々なヒントを共有することができました。しかし、もっと時間をかけて検討したいテーマでした。次回は、今回のテーマを更に掘り下げて学べる企画をしたいと考えています。参加者の薄葉先生からは、『仕掛学』-人を動かすアイデア

のつくり方(著者:松村真宏)の紹介がありました。

◇今後の開催予定

場所:グランフロント大阪北館2階 ナレッジキャピタルThe Labアクティブスタジオ

時間:19時~21時、日程:9月27日、11月22日、2020年1月24日、3月13日



参加申込先:緒方巧(梅花女子大学 t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇今年度の開催予定

会場:岡山大学教師教育開発センター東山ランチ(附属学校園のある東山地区です)

(http://www.okayama-u.ac.jp/user/cted/access_higashiyama.html)

日程及び発表者:いずれも土曜日の午後2時~5時30分です。参加希望の照会を1ヶ月前に行います。希望される方は高旗までメールにてご一報ください。

第2回 8月31日 廣山直貴先生(鳥取県立湖陵高等学校)・理科(生物基礎)

第3回 11月30日 東原猛琉先生(津山市立佐良山小学校)

第4回 2月29日(未定)

連絡先:高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇7月20日(土)、10時~17時「協同学習と探究」をテーマに第7回目の『協同学習フェスタ』を開催しました。高等学校の学習指導要領の改訂に伴い、これまでの「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」と名称を変え、探究の重要性が強調されています。探究活動は大学教育でも多様に実施されています。今回は大学におけるPBL(問題解決型学習)の実践例を中心に、協同学習の観点から探究を取り入れた授業づくりについて議論を深めました。

主な登壇者と報告内容は、①安永 悟先生(久留米大学文学部)「協同実践力を育むLTD授業モデル:LTD基盤型PBLを手がかりとして」、②小松誠和先生・他(久留米大学医学科)「PBL形骸化脱却への挑戦」、③長濱文与先生(三重大学教養教育院)「大学初年次における『探究的学び』をどのように実現するか?:全学必修PBL科目の実践を手がかりに」でした。参加者は50名でした。

◇今後の開催スケジュール

授業づくり研究会:10月12日(土)、12月7日(土)

参加のお申込みは、協同教育研究所「結風」(<http://yuikaji.me/wiki.cgi>)からお願いします。当日参加も可能です。

連絡先:安永悟(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)